

令和4年（2022年）夏（6月～8月）の天候経過

令和4年9月1日
新潟地方气象台

1. 北陸地方の今夏（6月～8月）の特徴

【梅雨の期間（6・7月）は記録的な高温、8月は記録的な大雨】

6月下旬から7月上旬は、盛夏期と比べても強い太平洋高気圧に覆われ、晴れる日が多く記録的な高温となった。8月は低気圧や前線の影響を受けやすく、記録的な大雨・多雨となった。

2. 3か月平均（合計）と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

北陸地方平均	6～8月	6月	7月	8月
平均気温平年差	+ 1.1℃	+ 1.5℃	+ 1.4℃	+ 0.4℃
階級	かなり高い	かなり高い	かなり高い	平年並
降水量平年比	122 %	63 %	96 %	208 %
階級	多い	少ない	平年並	かなり多い
日照時間平年比	106 %	128 %	121 %	77 %
階級	平年並	かなり多い	多い	少ない

（注）北陸地方平均：北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9地点）ごとの平年差（比）を平均したもの

3. 月別の天候経過

（6月）【梅雨前線の影響は小さく、かなりの多照 かなりの高温 少雨】

上旬から中旬にかけては、低気圧や気圧の谷、オホーツク海高気圧から流れ込む冷たく湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。下旬は、太平洋高気圧の北への張り出しが強まり、梅雨前線が北日本まで北上し晴れる日が多かった。このため、下旬は記録的な高温となり、各地で気温の6月としての極値を更新するなどとなり、月の気温はかなり高く、日照時間はかなり多く、降水量は少なかった。

（7月）【高気圧に覆われ晴れた日が多く、多照 かなりの高温】

上旬は高気圧や暖かい空気に覆われやすかったため、旬間日照時間がかなり多く、気温もかなり高かった。中旬から下旬の前半にかけては低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、月としては高気圧に覆われて晴れた日が多かった。このため、月の日照時間は多く、気温はかなり高かった。

（8月）【晴れは長く続かず記録的な大雨】

低気圧や前線の影響を受けることが多く、曇りや雨の日が多くなった。3日から5日にかけては、線状降水帯が発生するなど記録的な大雨となった所があり、中旬には停滞前線の影響などで旬間降水量平年比が347%となり、1946年の統計開始以降、1位の多雨となった。このため、月の降水量はかなり多く、日照時間は少なかった。

4. 参考資料

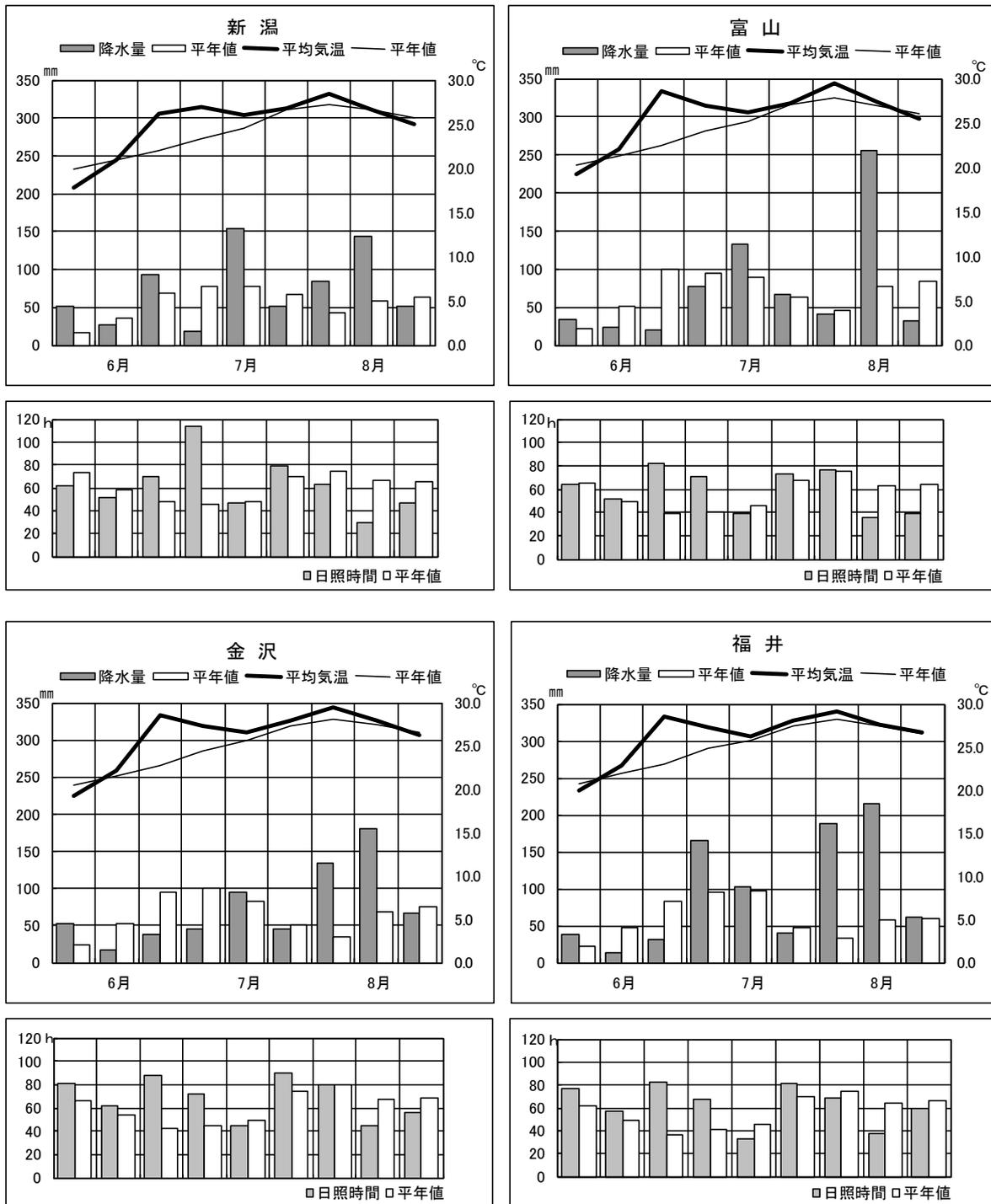


図1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における6～8月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	6月		7月		8月		3か月平均	
	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)
新潟	21.7	+0.8 (+)	26.6	+1.7 (+*)	26.6	+0.1 (0)	25.0	+0.9 (+*)
高田	22.4	+1.5 (+*)	26.3	+1.3 (+)	26.6	+0.2 (0)	25.1	+1.0 (+)
相川	20.7	+0.9 (+)	25.7)	+1.7 (+*)	26.4	+0.4 (0)	24.3	+1.1 (+*)
富山	23.3	+1.9 (+*)	26.8	+1.3 (+)	27.4	+0.5 (0)	25.8	+1.2 (+*)
伏木	22.6	+1.8 (+*)	26.4)	+1.3 (+)	27.0	+0.3 (0)	25.3	+1.1 (+)
金沢	23.4	+1.8 (+*)	27.3	+1.5 (+*)	27.9	+0.6 (0)	26.2	+1.3 (+*)
輪島	21.6	+1.6 (+*)	26.1	+1.7 (+*)	26.5	+0.6 (0)	24.7	+1.2 (+*)
福井	23.8	+1.8 (+*)	27.2	+1.1 (+)	27.8	+0.4 (0)	26.3	+1.1 (+*)
敦賀	23.6	+1.5 (+*)	27.3)	+1.0 (+)	28.3	+0.6 (0)	26.4	+1.0 (+*)
北陸平均		+1.5 (+*)		+1.4 (+*)		+0.4 (0)		+1.1 (+*)

降水量	6月		7月		8月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)
新潟	172.5	142 (+)	223.5	101 (0)	280.5	172 (+)	676.5	134 (+)
高田	48.0	35 (-*)	236.0)	114 (+)	301.0	163 (+)	585.0	111 (0)
相川	75.0	61 (0)	146.0	70 (0)	274.0	199 (+*)	495.0	108 (0)
富山	77.5	45 (-*)	277.5	113 (0)	327.5	158 (+)	682.5	109 (+)
伏木	70.5	44 (-*)	209.0	93 (0)	366.0	188 (+)	645.5	112 (0)
金沢	107.0	63 (-)	186.0	80 (0)	382.5	213 (+*)	675.5	116 (+)
輪島	92.5	59 (-)	111.5	56 (-)	396.5	224 (+*)	600.5	113 (0)
福井	83.0	54 (-)	310.0	129 (+)	465.5	309 (+*)	858.5	158 (+*)
敦賀	89.0	62 (-)	223.5	110 (0)	367.0	250 (+*)	679.5	137 (+)
北陸平均		63 (-)		96 (0)		208 (+*)		122 (+)

日照時間	6月		7月		8月		3か月合計	
	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)
新潟	181.8	101 (0)	239.7	148 (+*)	139.5	68 (-)	561.0	103 (0)
高田	179.0	117 (+)	180.2	121 (+)	144.6	76 (-)	503.8	102 (0)
相川	199.6	112 (+)	212.3)	132 (+*)	139.9	67 (-)	551.8	101 (0)
富山	198.0	129 (+*)	183.0	119 (0)	151.3	75 (-)	532.3	105 (0)
伏木	210.9	133 (+*)	186.6)	116 (0)	164.3	80 (-)	561.8	107 (+)
金沢	231.8	143 (+*)	206.7	124 (+)	181.0	84 (-)	619.5	114 (+)
輪島	209.0	129 (+)	172.0	109 (0)	156.4	77 (-)	537.4	103 (0)
福井	215.9	147 (+*)	182.0	117 (0)	165.4	80 (-)	563.3	111 (0)
敦賀	191.0	137 (+*)	157.9)	103 (0)	173.6	86 (-)	522.5	106 (0)
北陸平均		128 (+*)		121 (+)		77 (-)		106 (0)

注1) 平年値は1991～2020年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い (少ない), (0) : 平年並, (+) : 高い (多い)

(-*) : かなり低い (かなり少ない), (+*) : かなり高い (かなり多い)

注3) 値の横に) や] がある場合には、使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数 (統計に用いた品質が十分な日数) を气象台等に確認して、品質を確かめてください。

表2 北陸地方における6～8月の階級別日数

	6月			7月			8月		
	最高気温	最低気温	最高気温	最低気温	最高気温	最低気温	最高気温	最低気温	
官署	30℃以上	35℃以上	25℃以上	30℃以上	35℃以上	25℃以上	30℃以上	35℃以上	25℃以上
新潟	7(1.3)	0(0)	1(0)	21(10.8)	0(0.9)	4(2.8)	17(18.5)	0(2.3)	10(7.3)
高田	9(2.5)	2(0.1)	0(0)	20(14.6)	0(1.3)	1(1.1)	22(20.9)	5(3.2)	5(3.2)
相川	3(0.2)	0(0)	0(0)	9(6)	0(0.3)	1(2)	15(12.4)	0(0.7)	11(6.1)
富山	11(3.1)	5(0.1)	4(0)	26(15.5)	2(2.6)	5(2.2)	20(20.6)	12(4.7)	10(6.6)
伏木	9(2.1)	4(0.1)	2(0)	16(13.3)	2(2)	7(2.7)	19(19.1)	8(2.9)	11(8.1)
金沢	11(2.4)	1(0)	5(0.1)	24(15)	2(1)	9(6.3)	22(21.5)	7(2.1)	15(12.2)
輪島	7(0.8)	0(0)	1(0)	16(10.2)	1(0.5)	0(1)	19(16.8)	1(1.2)	9(2.6)
福井	12(4.6)	3(0)	1(0.1)	24(17.2)	4(2.8)	7(4.5)	23(24)	7(5.5)	12(8.6)
敦賀	9(3.4)	1(0)	5(0.2)	19(15.7)	3(1.9)	7(8)	21(23.5)	7(3.7)	17(14.3)

注1) 真夏日：日最高気温が30℃以上の日 猛暑日：日最高気温が35℃以上の日

注2) いわゆる「熱帯夜」とは夜間の最低気温が25℃以上の日を指すので、ここに示した日数と異なることもある。
一般的な意味での熱帯夜日数の統計はない。

注3) カッコ()内は平年値

表3 北陸地方における6～8月の日最高気温

官署	最高気温 ℃	起日	極値更新	6～8月のこれまでの1位 ℃	統計開始年月
新潟	34.9	8月22日	更新なし	39.9(2018/8/23)	1881/7
高田	36.7	6月24日	更新なし	40.3(2019/8/14)	1922/1
相川	33.7	7月31日	更新なし	38.1(2019/8/15)	1911/4
富山	37.7	8月11日	更新なし	39.5(2018/8/22)	1939/1
伏木	37.4	8月11日	更新なし	39.7(1994/8/14)	1887/5
金沢	36.7	8月11日	更新なし	38.5(1902/9/8)	1882/1
輪島	36.3	8月1日	更新なし	38.6(2020/9/3)	1929/5
福井	38.3	8月1日	更新なし	38.6(1942/7/19)	1897/1
敦賀	37.2	8月1日	更新なし	37.6(1918/8/13)	1897/10

表4 北陸地方における6～8月の累年極値・順位(3位以内)更新

◎3か月間の平均気温(高い方から)の順位更新

月	順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高(西暦) ℃	統計開始	平年値 ℃
6-8	1	輪島	24.7	+1.2	24.7(2010)	1929	23.5
		相川	24.3	+1.1	24.5(2010)	1911	23.2
	2	金沢	26.2	+1.3	26.3(2018)	1882	24.9
		福井	26.3	+1.1	26.6(2018)	1897	25.2
	3	富山	25.8	+1.2	26.0(2018)	1939	24.6
		敦賀	26.4	+1.0	26.6(2018)	1898	25.4

◎3か月間の降水量(多い方から)

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最高(西暦) mm	統計開始	平年値 mm
6-8	3	福井	858.5	158	1165.3(1953)	1897	543.4

◎月平均気温高い方から

月	順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高（西暦） ℃	統計開始	平年値 ℃
6	1	富山	23.3	+1.9	23.0(2020)	1939	21.4
		金沢	23.4	+1.8	23.3(1979)	1882	21.6
	2	高田	22.4	+1.5	22.7(1979)	1922	20.9
		伏木	22.6	+1.8	22.7(1916)	1884	20.8
		輪島	21.6	+1.6	21.7(1979)	1929	20.0
		敦賀	23.6	+1.5	23.9(1979)	1898	22.1
3	福井	23.8	+1.8	23.9(1979)	1897	22.0	
7	2	輪島	26.1	+1.7	26.7(2018)	1929	24.4
	3	新潟	26.6	+1.7	27.4(2018)	1881	24.9
		金沢	27.3	+1.5	28.3(2018)	1882	25.8

◎月降水量多い方から

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最高（西暦） mm	統計開始	平年値 mm
8	1	福井	465.5	309	341(2021)	1897	150.7

5. 天候情報発表状況

なし

6. 北陸地方の梅雨入り・明けの時期（確定値）および梅雨の時期（6月～7月）の降水量

北陸地方の梅雨の時期（6月～7月）の降水量平年比は83%であった。なお、1946年以降で6月～7月の降水量が最も少ない年は1994年（平年比36%）で、最も多い年は1964年（平年比176%）である。

表5 梅雨入り・明けと梅雨の時期の降水量

地方名	梅雨入り		梅雨明け		梅雨の時期の降水量平年比 (注2)
	今年(注1)	(平年)	今年(注1)	(平年)	
北陸	6月6日ごろ (-)	(6月11日ごろ)	特定できない	(7月23日ごろ)	83% (-)

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中目をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)*: かなり遅い、(+): 遅い、(0): 平年並、(-): 早い、(-)*: かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)の観測値を用い、梅雨の時期(6～7月)の平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)*: かなり多い、(+): 多い、(0): 平年並、(-): 少ない、(-)*: かなり少ない、の階級区分を表す。

階級区分は、1991～2020 年における30 年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%		33%
	10%		10%
梅雨入り・明け	遅い かなり遅い	平年並	早い かなり早い
降水量	少ない かなり少ない	平年並	多い かなり多い

表 6 各地の梅雨の時期（6月～7月）の降水量

地点	新潟	相川	高田	富山	伏木	金沢	輪島	福井	敦賀
降水量 mm	396.0	221.0	284.0	355.0	279.5	293.0	204.0	393.0	312.5
平年比%	115	67	83	85	73	73	57	100	90

この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。
 なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。